

コーヒーの畑を育てる



技術指導する



有機栽培のための腐葉土を用意する



豆を選別する

カフェアンデスを生産する ペルーのセコアクノル(コーヒー生産者中央組合)

ルズミラ ロイイザ セコアクノル理事

セコアクノルは設立20年を越える自立的な協同組合です。ペルー北方のアンデス山脈の9組合から構成され、全体で3000の生産農家が加盟しています。農家は平均2.5ヘクタールのコーヒー畑を所有し、およそ年間1200キロを生産します。収穫時期は、4月から10月で、ほとんどの収穫は6月から8月です。コーヒー畑は、海抜900から1800メートルの高度のなかにあり、家族細出で収穫されています。

この地域の農民にとりコーヒーは、ココヤシ栽培に代わる農産物で生産の80%がコーヒーで、残りの20%がとうもろこしやバナナや豆類などです。

ペルーは社会基盤が貧弱で政府からの支援はなく、銀行も十分に機能しないため資金の借入れも困難です。そのため組合は資金の借入れ、技術指導、その他の教育プログラムを担ってきました。また、ペルーの港での売渡価格の5%が、基金として集められ、保健や教育プログラム、有機農法普及の技術指導のため用いられ、生産者農民の生活改善のために大きな役割を果たしています。

1990年以降、セコアクノルは不安定な国際価格に対抗するためマックスハベラー・トランスフェアアのオクタンティブな進捗による市場から支援を受けてきました。これにより生産農家は、高品質のコーヒーに対してより公平な価格を得てきました。しかし残念ながらこの市場は、普通の市場より小さいです。

セコアクノルの生産農家は年間およそ9千トンのコーヒーを生産しますが、そのうち3、4割を組合で集荷、乾燥、選別し輸出しています。その他は利益を目的とする仲買業者に売られます。

難民支援

カクマ難民キャンプからのSOS!

スーダンの内戦は10年以上も続き、現在でもケニア北西にあるカクマキャンプの6万人の難民は故郷に帰ることが出来ず、キャンプで希望の持てない生活を続けています。最低限の食料は、国連難民高等弁務官事務所(LNHR)から支給されていますが、子供たちの教育、保健や医療、その他キャンプ内のソーシャルワークは、NGO(非政府組織)としてのルーテル世界連盟・世界奉仕団(LWF)の責任です。昨年はルワンダでの難民の大量発生、ボスニア内戦などに世界の関心が向きました。その結果、資金が集まらず約4千万円の赤字に陥り、キャンプの閉鎖も検討される事態になっています。

わたしの美しい大地スーダン

アブラハム チェンコウ(カクマキャンプ ラジヤ研修学校)

いつ わたしは美しい大地を見ることができるとか

神にたずねています

わたしが生まれ、そこを離れた大地

いつ わたしは美しい大地をふたたび見るのでしょうか?

父、母、兄、姉たちがそこにいます

いつ わたしは彼らに会えるのでしょうか?

人びとは苦しみ、なお、お互いに争っています

いつ わたしは美しい大地に再び希望を見ることができるとか

スーダンの人たちは、我慢しなさい

自由はすぐにやってきます

スーダンの苦しみは、妊婦のよう、我慢しなさい

我慢しなさい 困難なしには幸福はないのです

原因があって結果が生まれるのですから



子供たちによる手作りするジャズバンド

自立支援 カンボジア牛の支給プロジェクト

730頭が支給され、子牛が450頭誕生



バタンバン省キクムンダ村での支給に集まった村ひと

1993年から開始された牛の支給プロジェクトは、現在までに730頭、365組が支給されました。すでに子牛が450頭も誕生しているとは驚きです。カンボジア農民自立のための支援の呼びかけに応じて、昨年5月から現在までに125名のかたが募金に協力してください、すでに4万ドル、200頭分をわちあいプロジェクトとしてカンボジアに送金しています。ほかの約500頭分はヨーロッパの教会関係の援助団体が資金協力しています。私たちは皆で資金を持ちより協同プロジェクトをすすめています。

昨年、同様引き続いてご支援のほどよろしくお願ひいたします。



1995年の募金

目的と目標額

- カクマ難民救済 300万円
学校建設のため
その他の教育プログラムのため
ワークキャンプのため
- 自立支援 500万円
カンボジア帰還難民に牛を贈るため
- その他の緊急援助

募金目標額 800万円

募金の送金先

郵便振替口座
わちあいプロジェクト募金
東京3-762258

お知らせ

●わちあいプロジェクト 専用事務所開設!

例会を8月を除く、毎月第3火曜日の午後7時から行っています。また、毎週火曜日午後からは作業をいたします。歓迎いたしますので、いらして下さい。
●牛の支給プロジェクト見学の旅
参加者募集

6月24日から7月1日まで、1週間、バンペン、アンコールワット、コンポン

チュナムを訪問します。その間、カンボジア農民との交流をいたします。

●カクマ難民キャンプでのワークキャンプ参加者募集
7月29日から9月5日まで、約1ヶ月、学校建設のワークキャンプと難民キャンプの働き場の研修を行います。
●カンボジア長期ボランティア公募
関心のある方は事務局までご連絡ください。

わちあいプロジェクトは、募金と産品販売収入を車の奨励として、支援活動をすすめます。



発行所 わちあいプロジェクト 130 東京都墨田区江東橋 5-3-1 電話: 03-3634-7809 FAX: 03-3634-7808
 編集者 松木 傑 郵便振替口座: わちあいプロジェクト 東京8-758331 (コーヒー、紅茶支払い用)
 わちあいプロジェクト募金 東京3-762258 (募金用)